

会 議 名	第3回港区東麻布学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和4年10月17日（月曜日）午後5時50分から午後7時40分まで
開 催 場 所	麻布地区総合支所 第1会議室
委 員	出席者 5名 岡田委員長、富田副委員長、安梅委員、請川委員、白井委員
事 務 局	麻布地区総合支所管理課長 櫻庭 靖之、施設運営担当係長 駒井 担当 本多、宇野、今本
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	1 開会 2 議題審議 議題1 第二次審査について 議題2 運営事業候補者の決定について 3 閉会
配 付 資 料	[卓上配布] 資料1 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）方法について 資料2 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング）採点表 資料3 第一次審査・第二次審査採点集計表 資料4 第2回港区東麻布学童クラブ運営事業候補者選考委員会会議録 事業者A プレゼンテーション資料 事業者D プレゼンテーション資料 参考資料 第一次審査（書類審査）集計表
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会  （事務局より本日のスケジュールについて説明）
事務局	2 議題審議 議題1 第二次審査について  （事業者Aによるプレゼンテーション実施）
委員長	それでは、ヒアリングに入ります。
A委員	港区内には、様々な地区、施設があると思いますが、東麻布の地域性や特色をどのように捉えていますか。
事業者A	東麻布の地域性・特色として、麻布森元町会や飯倉3町会が主体となった

	<p>かかし祭りや御神輿を用いたお祭りが多く、地元との関わりが強い印象です。その中で、学童クラブを利用する子どもたち、私自身もお店を出店する等の形で積極的に参加し、地域の方とコミュニケーションを図り、地域の活性化に繋げていきたいと思えます。</p>
B委員	<p>子どもたちの主体性を促す新型コロナウイルス感染症対策として、どのような工夫をしていますか。</p>
事業者A	<p>マスクの着用や密にならないようにすることは、言えば理解してくれると思いますが、それだけでは主体性には繋がりません。例えば、子どもたちの好きなイベントや行事等でゲーム性を取り入れたり、鼻までマスクをしていない子どもに対して、「マスクどうすればいいんだっけ」というような声かけをしたり、子どもたちが自ら進んで、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでくれるようにしています。</p>
C委員	<p>施設長候補者の方にお伺いします。現在の施設では、常勤や非常勤、年齢、経験年数など様々な職員がいると思えます。その中で、施設長として気を付けていることや努力していることがあれば教えてください。</p>
事業者A	<p>施設の運営として、「チーム保育」を大切にしています。職員一人ひとりにどのような個性があるのか、子どもたちへ還元できるような得意なことは何かを面談を通して確認しています。また、コミュニケーションや職員のモチベーションを上げることも重要だと考えています。</p>
C委員	<p>本部の方にお伺いします。新型コロナウイルス感染症が流行し、職員の罹患や濃厚接触者として出勤できない状況があったと思えます。そのような状況下で、バックアップの体制や取り組んだ事例等がありましたら教えてください。</p>
事業者A	<p>ご質問いただいたような状況は、多数発生しました。エリアマネージャーの設置により、各施設の情報が本部に入るようになっていきます。突発的な欠員に関しては、日頃から人員の交流を行っているため、対応できる職員を配置しています。また、新型コロナウイルス感染症のような長期的なお休みになってしまう場合、罹患して職員の精神的、経済的負担とならないよう、本部のバックアップ体制が十分に整っています。</p>
D委員	<p>本部のバックアップ体制として、エリアマネージャーが巡回や助言を行っているという記載がありますが、具体的にどのような助言をされたか教えてください。</p>
事業者A	<p>施設長が人材育成を行う際にも、どのような計画で行っていくのか、どのような個性を持った職員が従事しているのか、このような事例があって、こんな対応をしたなど細部にわたることで情報共有を行い、その都度、助言</p>

	<p>しています。事例として、地域のお祭りに参加した際、子どもたちと御神輿を出しました。4町会からお声がけいただきましたが、時間の関係で2町会しか参加することができませんでした。後日、エリアマネージャーと町会の方のもとへご相談に伺い、次年度は、少人数でも分散して4町会すべてに参加できるよう施設長に助言しました。</p>
D委員	<p>東麻布学童クラブは、同じ建物の中に、東麻布保育園やみなと保育サポート東麻布がありますが、何か具体的な連携は考えていますか。</p>
事業者A	<p>東麻布学童クラブの隣には、みなと保育サポート東麻布があるので、学童クラブの子どもたちに、読み聞かせや園庭で乳幼児とお散歩をしてもらい、保育士体験をさせたいと考えています。また、1階と2階に東麻布保育園もあるので、年長さんに対して小学校ではどのようなことをしているのかなど教えてあげられるような機会づくりをしたいと思います。</p>
D委員	<p>新1年生入学時のお迎えサポート、退出時の帰宅サポートは、具体的にどのような取組をされていますか。</p>
事業者A	<p>入学時のお迎えサポートは、1カ月間職員が直接学校に行き、1年生と一緒に学童クラブへ登室するというサポートになります。道中で、子どもたちに横断歩道では手を挙げる、右、左、右の確認をするなど、1人でも安全に登室できるよう指導を行っています。また、1カ月経過後でも交通量の多い場所を中心に、職員を配置し、横断中の旗を用いて誘導するなどのサポートも行っています。</p> <p>退室時の帰宅サポートに関しては、こちらで指定したルートをもとに子どもたちの自宅近くまで職員と一緒に帰宅するというサポートになります。</p>
E委員	<p>提案書の中で、保護者ブログを毎日更新していると記載があったのですが、本当に毎日更新されているのでしょうか。また、その閲覧数を教えてください。</p>
事業者A	<p>はい。毎日更新しています。その日の子どもの様子を写真に撮って掲載しています。</p> <p>閲覧数としては、学童クラブ定員の半分以上は見てくださっています。しかし、だんだんと見る機会が少なくなっている保護者もいらっしゃるため、定期的にお知らせやイベントで周知をしています。</p>
E委員	<p>小学生のコーチングは、素晴らしいと思うのですが、年齢別とかに分かれているのでしょうか。また、具体的な方法などありましたら教えてください。</p>
事業者A	<p>新任研修の段階で、低学年向け、中学年向け、高学年向け、それぞれの特徴を踏まえたコーチングの研修を行っています。まず、身に付けていただくものとして、どの学年にも当てはまる傾聴・承認・質問の3種類を推奨して</p>

	<p>います。特に、港区内では高学年のご利用も多いので、エリアマネージャーを中心に、高学年向けの内容も積極的に行っています。</p>
E委員	<p>育成支援の考え方において、多様性を認める教育とありますが、その中で大切にしていることはありますか。</p>
事業者A	<p>子どもたち一人ひとりが違う考え、個性を持っていることが当たり前と思ってもらえるようにしています。学童クラブで行っているものとして、利用している子どもたちは多国籍なので、国旗かるた等の遊びを通して、各国の文化などに触れることから始め、多様性を身近に感じてもらうようにしています。</p>
委員長	<p>それでは、時間となりましたので、プレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。 (事業者A退席)</p> <p>(事業者Dによるプレゼンテーション実施)</p>
委員長	<p>それでは、ヒアリングに入ります。</p>
A委員	<p>東麻布地域について、特徴や留意すべき点がありましたら教えてください。</p>
事業者D	<p>国際色豊かな地域であり、言葉が通じないことが懸念点として挙げられます。意思が通じないと、子どもとの信頼関係も築けないので、まずは言葉の壁を突破できるようにしたいと思います。</p>
A委員	<p>具体的な取組や工夫はありますか。</p>
事業者D	<p>例えば、お便りではルビを振ったり、会話の中では翻訳機を用いたり、または本部から英語が話せる職員を配置してもらうような工夫を行っています。</p>
A委員	<p>今まででも施設長として、外国籍のお子さんをみることもあったと思いますが、その時はどのようにしましたか。</p>
事業者D	<p>今までは、児童が日本語を話せ、保護者が話せないことがありましたので、その時は児童と一緒にお便りを読むなどして、意思疎通を図っていました。</p>
A委員	<p>「ただいま」と安心して帰ってこられる学童クラブをつくりたいと思いますが、そのような施設にするためにどのような工夫を行いますか。</p>
事業者D	<p>子どもが自分の場所と思ってもらえることが大事なので、自分が帰ってきて当たり前と思えるような信頼関係を築いていきたいです。</p>

B委員	20年近くのキャリアを踏まえて、東麻布学童クラブでしなくてはならないと思っているチャレンジを3つ挙げてください。
事業者D	1つ目は、国際色豊かな場所であるので、自分自身も語学力を上げていきたいと思います。2つ目は、子どもたちが企画・運営して自分たちの学童クラブと思える場所をつくる。3つ目が、様々な学年の児童に利用してもらいたいと思うので、様々な子どもが遊べるような場所づくりを行いたいと思います。
B委員	そのために、どのようなことが必要だと思いますか。
事業者D	子どもたちと会話をするのが大切だと思います。今の施設でも、子どもとの対話や遊びを通して、関係性をつくっているの、それを続けていきたいと思います。
C委員	先ほど、東麻布学童クラブは、複数の学校からくる学童クラブという話がありました。今まで、放課GO→のような単独の学校での運営も経験されたと思います。その中で、単独の学校からなる学童クラブと複数の学校からなる学童クラブの運営において、違いや注意している点などがありましたら教えてください。
事業者D	学校によって子どもたちの雰囲気異なります。現在、勤めている施設は、4校から来ています。学校のカラーがそれぞれありますので、遊びの制限を設けず、みんなで遊ぶ時間を設けています。おやつを食べるときなどの生活班も、いろいろな学校の児童を混ぜるなどしています。
C委員	その取組でうまくいった点、うまくいかなかった点がありましたら教えてください。
事業者D	うまくいった点に関しては、おやつを食べるときに違う学校、学年の児童を混ぜることによって、仲良くなるきっかけをつくれたことです。うまくいかなかった点に関しては、子どもたちそれぞれに個性がありますので、その個性がマッチしないと仲良くなれず、友達に発展しなかったというところですね。
C委員	職員が主体的に学び合うために、区内施設のグループミーティングや他施設研修をすると書かれていますが、どのような方法で行っているか教えてください。
事業者D	グループミーティングにつきましては、その地域の施設で集まってミーティング及び研修を行います。その施設の土地柄や子どもの個性、家庭の背景など施設ごとに異なるので、対応例等を共有し、1施設のことだけではなく、

	<p>いろいろな施設で活用でき、チーム全体で能力をアップできるような機会をつくっております。</p> <p>他施設研修につきましては、他の施設へ一日育成体験を行うという研修になります。他施設が取り組んでいることや工夫している点を実際に体験し、自分の施設でも活かせるような機会をつくっています。</p>
C委員	<p>グループミーティングや他施設研修につきましては、職員からの評判はいかがですか。</p>
事業者D	<p>ヨコの繋がりを大切にするという職員が多く、他施設ではどのような取組をしているだろうといった好奇心、他施設の取組を参考にし、お土産として持って帰ってきている職員が多くいます。</p>
D委員	<p>本部のバックアップ体制について、東麻布地域の特色として、国際色豊かで言葉の壁があるとおっしゃっていましたが、本部として具体的にどのようなバックアップ体制を取りますか。</p>
事業者D	<p>港区の施設には、英語が話せる職員を1名以上配置しております。保護者の面談時も通訳できる職員を配置し、保護者が言いたいことをしっかり理解できるような仕組みを取っています。</p>
D委員	<p>概要版資料に関係各所との連携とありますが、併設している東麻布保育園、みなと保育サポート東麻布とは現時点でどのような交流を考えていますか。</p>
事業者D	<p>東麻布保育園の園児は、小学校入学の際に東麻布学童クラブに通う可能性もあるので、学童や小学校の紹介ができるような交流をし、不安を取り除ければと思います。</p> <p>みなと保育サポート東麻布は、一日体験のような交流を設け、具体的にどのような交流ができるかを探っていきたいと思っています。イベントにおいても何か共通点を探し、施設の方から提案させていただければと思います。</p>
D委員	<p>外国籍の保護者の場合、言葉の壁があると思いますが、現段階でどのような工夫をしていこうとお考えですか。</p>
事業者D	<p>ジェスチャーを加えてコミュニケーションを取ったり、日本語が分かる児童でしたら、間に児童を挟んで対話をしていきたいと思っています。</p>
E委員	<p>保護者とのコミュニケーションについて、連絡帳での情報交換と記載がありますが、どのような情報交換をしますか。</p>
事業者D	<p>軽微な事故・怪我の発生、児童の少し気になる行動等を記載しています。子どもの力で伝えることも大事にしておりますので、毎日、連絡帳を記載しているわけではなく、必要に応じて実施しています。</p>

E委員	働きやすい職場づくりについて、職員の健康管理、ワークライフバランスに配慮した制度づくりを行い、相談窓口を設けていますが、具体的な相談内容は多いですか。
事業者D	施設での人間関係が全体の約7割ほどだと思います。他には、個人的な家庭の状況で介護が入りそうな時に、働き方についてご相談いただいています。
E委員	人間関係は、なかなか解決が難しいと思いますが、そういった悩みを打ち明けられた時、どのような点を配慮されますか。
事業者D	担当している執行役員のもので対応しており、本人の話を全て聞き取り、どのような要望があるのかなど正確な情報を聞き取る点について配慮しています。
委員長	それでは時間となりましたので、事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングを終了いたします。 (事業者D退席)
事務局	議題2 運営事業候補者の決定について 第二次審査結果の説明 事業者Aは、1,530点満点中1,163点で、加点項目分を除く得点率は76.9%という結果です。 事業者Dは、1,530点満点中1,133点で、加点項目分を除く得点率は74.9%という結果です。
委員長	それではこの点数を受けまして、各委員の皆様からご講評をお願いし、内容を審議いたします。
A委員	事業者A、事業者Dについて、それぞれの施設長候補者の良さが出ていたと思います。しかし、事業者Aは、地元のお祭りや地域性のことをよく理解し、どう進めていくかなど具体性があり、事業者Aを高めに評価しました。
B委員	事業者A、事業者Dのどちらの施設長候補者でもしっかりと運営できるだろうと思いました。しかし、事業内容の具体性や施設長候補者の伸びしろを考えると、事業者Aの方が優れていると感じたため、評価いたしました。
C委員	事業者Aは、本部が現場をよくサポートしている体制が伺えました。また、地元町会の名前やお祭りなどのイベントをプレゼンテーションで出せるというのは、非常に強みのある事業者という印象を受けました。施設長候補者についても、淡々とはしていましたが、しっかりと考えていることが伺える良い事業者だったと思います。 事業者Dは、本部の役割分担や現場の運営体制がはっきりしており、会社

D委員	<p>全体の体制として評価いたしました。そのほかは、事業者Aと遜色はないと思います。施設長候補者は、経験年数が長く、自信を持たれている印象でした。結果的には、僅差でしたが、本部の体制の面で事業者Dを評価しました。</p> <p>事業者A、事業者Dについて、本部のバックアップ体制や施設長候補者の差はほとんどなかったと思います。しかし、事業提案の実現性のところで、事業者Aがお祭りに参加したり、併設している東麻布保育園、みなと保育サポート東麻布との連携として保育士体験が挙げられたり、具体的に説明ができていました。また、安全対策についてもお迎えサポート、退室時のサポートなどの取組が挙げられ、非常に良い事業者だと思いました。</p>
E委員	<p>施設長候補者について、事業者A、事業者Dどちらも安定したプレゼンテーションをされており、差をつけることができませんでした。</p> <p>事業提案について、事業者Aは、様々なイベントやプログラムが非常に豊かにあり、具体的な説明により、実現性がありました。事業者Dも、安定した提案をされており、実現性があったため、事業提案についても差をつけることはできませんでした。</p> <p>差をつけたのが、安全対策についてです。事業者Aは、お迎えサポートなどの取組が具体的に取られており、事業者Dは、地域性に配慮した対策がなく、一般的な配慮に終わっているため、事業者Aの方を評価しています。</p>
委員長	各委員からの意見を受けて、点数の変更はございますか。
全委員	(変更なし)
事務局	<p>それでは、第一次審査・第二次審査合計点数を発表します。</p> <p>事業者A 合計点数 1,163点 得点率76.9%(加点項目分除く)</p> <p>事業者B 合計点数 1,133点 得点率74.9%(加点項目分除く)</p> <p>よって、港区東麻布学童クラブ運営事業候補者は、事業者Aでよろしいでしょうか。</p>
全委員	了承
委員長	<p>それでは、当委員会として、港区東麻布学童クラブ運営事業候補者は、事業者Aに決定いたします。</p> <p>事務局は、決定した運営事業候補者を発表してください。</p>
事務局	港区東麻布学童クラブ運営事業候補者として決定した事業者Aにつきましては、キッズベースキャンプ コンソーシアムでございます。
委員長	3 閉会